

守れ9条!

こんにちは! 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年3月16日

〒319-1112

東海村村松 2401-2

oonatoukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

〔3月議会開会中〕

東海村原子力安全対策懇談会が来年度

プルサーマルに関してフランス・ドイツへ視察に

日本原電と電事連は昨年1月、「プルトリウム利用計画」を発表し、その後、原電主催の「事業報告とコンサートの夕べ」では、東海事務所長が「2010年までに東海第二発電所でプルサーマルを実施する」ことを明言しました。

一方、村議会では原子力政策推進派が、「原電からプルサーマル実施の話がきたときに、テーブルに着く気があるか?」「ウラン燃料のリサイクル、MOX燃料の利用はエネルギーの安定供給に必要。考えはどうか」「議会原特委は仏のグラブリーヌ原発の実状を視察し安全性を確認している。村としても対応すべき...」など、度々質問が出ていました。

これまでの議会答弁村長「プルサーマルについては、白紙状態」

村長は、原電が正式に村へ話してきていないことや、度重なる電力会社の不祥事などを理由に、「現在のところ、白紙状態。村としても十分調査、情報収集に努め、住民の合意形成を重んじて対処していきたい」など答弁していました。

しかし、これらの動きを受けて、村では、原電から村への正式な話はされていないものの、プルサーマル計画についての調査に取りかかっているとのこと。原子力安全対策懇談会が、今年1月には九州の玄海発電所へ、2月には四国の伊方発電所と中国の松江市と発電所など視察・勉強を進めてきましたが、来年度はフランスとドイツへ発電所や行政の実態調査(約900万円)に行くとのこと。

原電の「プルサーマルの必要性・安全性」についての住民周知はやめよ

3月議会代表質問で私は、「原電がプルサーマルを実施することを、原電発行のパンフやコンサート、その他のコマースで「プルサーマルの必要性」の観点で住民へ周知していることに対し、村は、「住民周知を止(や)めるよう」意見を述べるべきだ。村自身もまだプルサーマルに関しては、どう考えたらいいかわからず、種々の調査を始めたばかりの時に、住民に対してだけは、その必要性と安全性についてのみ周知されるというのでは、情報の公正・公平さに欠け一方的すぎて問題だ。」と質問しました。村上村長は、「民間企業が住民に事業説明を行っているだけなので、それに村が制約を加えることはできないし、するつもりもない。」と、意見を言う気持ちは全くないと、無責任な姿勢を示しました。

フランス・ドイツの調査結果は、住民・議会へ報告せよ

日本共産党会派は、議会「07年度村予算特別委員会」での質疑で、原安懇の海外視察の報告は、議会・住民へも行うよう求めました。公費約900万円を費やすことを考えれば、公的に正式な報告が行われるべきことは当然です。まして、住民生活の安全確保に大きく影響をおよぼしかねないプルサーマル問題の調査結果についてですからなおさらです。村長は、「報告をするようにします」と述べました。

大名みえ子の“ひとりごと”

・・・・・・我が家の愛ネコ「ミルク」のその後・・・・・・

雄だけど「ミルク」と名付けたのは他でもない、娘曰く「ほ乳瓶でミルクを飲ませて育てたから」だ。日常家族はミルクを呼ぶとき、自分の気分に合わせて、「ミルちゃん、ミルー」は、可愛いと感じているとき。「ミルーッ!!」は、とんでもないいたずらネコだ!と厄介さを感じているとき。

ある朝、ミルが潔く外へ抜け出し、近所の巨大飼い猫と出合った。シーズンとあって我が家の方まで出かけてきていたのだ。睨まれ、けんかの初体験となってしまった。奇妙な鳴き声を聞きつけて近づいてみると、何とミルはぬれ縁の下にかくれ、ブルブル震えているのではないか。やっと引きずり出して家の中に入れると、片足を引きずって、隅っこで震えどおし。

帰宅後娘が病院へ連れて行くと、「左足の太ももあたりに噛まれたあとがある」とか。可哀想もつかの間に、処方された薬袋に書かれた患者名“大名ミルク様”に思わず、ぶーっと吹き出してしまった。ちなみにミルは、甘い薬が大好きのように。

・・・・・・感動的(?)だった「待て!」「だめ!」が通じたとき・・・・・・

犬のしつけでは、普通「お手」「待て」「お座り」など最低限のしつけが行われると思うが、ネコについては、しつけという観点がまるでなかった。

ミルが、いかにもわざとらしくトイレ以外でおしっこをするようになったとき、悩んだ結果、“私が主である”と教えることを決意。えさを与える前に「待て」と言って、おしりを床に着くようにおさえ、待ってからえさを「よし」で食べさせるようにしてみた。何度かくり返してこれができるようになった。日によっては、私がえさ袋を持つと、何も言わなくても“待ての姿勢”になる。みんなで「スゴーイッ」。

さらに寝るとき、私の布団に入るのも「だめ」を教えて今では入らず、布団の近くか、自分の寝場所で寝るようになった。こうしてミルは、すっかりトイレ以外でのおもらしをしなくなった。どういう関係があるのかは今ひとつわからないが...



しかし、悩みはまだまだ。今週号はミルク特集ですみません。